

「ふろしき」禮讃

生活改善私見

中越 榮二

ここ数年、いやしくも一人前の人間となれば、ハットで右手にカバンを持ち左の肩から寫眞機をぶらさけて歩くことが一つの流行となつてゐるやうだ。これは何も悪い流行といふわけでもないが、どうも猫も杓子もみな一様な、いでたちとなつて見ると、負け惜しみかも知れないが、ものである。

元來風呂屋だの、風呂敷だのという名は何んとなく庶民的で面白い。いや面白というより、これは何れも、わが國では昔から大衆に親しまれ、大衆に愛されて來た生活の絆結であつたのである。

浮世風呂にひたつてゐるオヤジの浪花節だの、街道歩きふりわけ荷物だのは、何んといつても日本的であり、庶民的であつた。

風呂敷と言へば彼の大衆に親しまれた政治家に、古くは大隈重信だの後藤新平などという大人物があつた。

彼等は若さを自由にのびのびと満喫してゐるのである。その姿のなんと美しい事か。若さはそれだけで美しいと或る詩人は云つたが、確



旅「たび」

富永 ひさお

旅は日常感からの脱出であり、漂泊である。と三木清はその著「人生論」の中で言つてゐる。

旅は日常感からの脱出なのである。日常感からの脱出なのである。日常感からの脱出なのである。

旅は日常感からの脱出なのである。日常感からの脱出なのである。日常感からの脱出なのである。

旅は日常感からの脱出なのである。日常感からの脱出なのである。日常感からの脱出なのである。

旅は日常感からの脱出なのである。日常感からの脱出なのである。日常感からの脱出なのである。



新町村建設促進の法的措置の狙い

法的措置の狙い

町村合併促進法が制定されてから二年数カ月を経過したが、町村合併の歴史的意義は全国的に著々と進み既に計画の八割五分を達成約九千六百の町村が誕生した。

さてこの合併により生れたこれらの新市町村の建設段階に入つた今、果して舊村間に感情のつれはないか、機構の整備統一が行われてゐるかどうかな等、問題点が少なくない。

これらの点について實情を檢討、新市町村の建設を援助調整しようとするものが目下國會で審議されてゐる。新市町村建設促進法である。

本法は町村合併促進法が本年九月末で三年の有効期間を終えるので、これに代るもので、新しい地域を基

礎として、速かにその一体的態勢を確立し、合併によつて強化された行政能力を活用して、その建設を計画的且つ効果的に、地域社會の發展向上のため、町村の自主的努力と相まじり、更に未合併町村の合併を強力に推進するために必要な措置を定めてゐる。

大要は次の如きもので、支所の廢止統合、小中學校の統合等により組織運営の合理化を図つて、健全なる財政運営を促すために新市町村に、新市町村建設審議會を都道府縣には促進審議會をおいて、これに必要な基準を定めて助言や勧告をする。

又未合併町村の合併を推進するために、國は新市町村建設促進中央審議會をおくことができるものとされ

發行所 民館
中里村公所
十日町新開社

又國は新市町村に對して建設計畫調整促進の補助金並に支所、小中學校の統廢に伴う補助金を交付し、財政上の援助、起債の許可等についても、優先的に配慮すること、縣においてこれに準じて必要な措置をすること。

郵政省電信電話公社等も新市町村住民の便益を確保するため、所管區域の變更等を行うべきであるとされ、その他建設計畫にかゝける事業について、地方債を起すことと不均一課税、地方交付税の算定に當り、行政經費について特別の補正、國有林野の払下げ等について特別の措置を規定してゐる。

更に合併促進法の失効に對して知事が勧告を行い必要と認める場合は住民投票に付することができるとし、知事の申請によつては、總理大臣が合併の勧告をすることが出来ることと云う規定もある。

以上とされている。

参議院議員の通常選挙を前にして

参議院議員の通常選挙は七月初旬に一斉に行われるので、選挙運動期間に入るに當り、参議院の特色をのべてみよう。

1、わが國の國會は衆議院

農協・共済 理事役職決る

中里村農協及共済組合、倉俣農協及共済組合では、四月理事の改選が行われたので、それ、理事會を開催左の通り役職を決定した。

中里村農協協同組合 組合長 渡邊利三 副組合長 廣田要吉 専務 上原國一

倉俣農協協同組合 組合長 廣田要吉 副組合長 渡邊利三 専務 高橋熊蔵 組合長 藤ノ木利一 (農業共済組合合同兼務)

高道山地区誕生

高道山小学校区の婦人は今日迄田澤婦人會員として活動して來たが、昨秋來組織規模と婦人團體について、討議した結果田澤婦人會と分離し、新しい會を作ることとなり、去る四月二十八日高道山地区婦人會と名稱を定め發足、初代會長には林木澤の樋口チサさんが就任した。

統一する青年團 青年會では去る四月二十

時事知識

アデナウアー方式 アデナウアー方式とは、アデナウアー西獨逸首相が昨年九月モスクワを訪問した際、いくつかの困難な問題があるが、これらの問題を後廻しにして先ず外交關係の樹立と、ドイツ人捕虜の特救について取決めを行つた。

一般的にはまず懸案事項の解決をみてから、平和條約を結び、その上で國交回復をはかる。

日ソ間でやつてきたようないわゆるロンドン交渉方式(ロンドン方式)が普通で、この点アデナウアー方式はロンドン交渉方式と逆で、ソ連との國交の正常化をはかるにあつて、まず、大公使の交換を行い、その後、いづれな懸案をはかるという方式である。

